

2023

8.9 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_22DIYqoITOWsgS7w6pr_1w

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

タンデム学習による外国語学習 ～学習者同士の自律的な言語学習の効果と課題～

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)



Key Words

タンデム学習

E タンデム

学習者オートノミー

相互学習

協働学習

多文化共生

脇坂 真彩子 准教授

留学生センター



兵庫県出身。2008 年にお茶の水女子大学文教育学部を卒業。大阪大学文学研究科で日本語教育学を専攻し、2014 年に博士号（文学）を取得。その後、同年 9 月に九州大学留学生センターに講師として着任し、2020 年 10 月より現職。

現在、九州大学の学部留学生のための日本語コース (Japanese Language Courses : JACs) のコーディネーターを務め、外国人留学生への日本語・日本文化の教育と研究に取り組んでいます。また、2008 年より日本の大学キャンパス内での対面式タンデム学習と、日本ドイツ間での E タンデムの実践・研究を行なっています。

タンデム学習とは異なる言語を母語とする 2 人がパートナーとなり、互惠性と学習者オートノミーを原則として、互いの得意な言語や文化を学び合う学習のことです。もとは 1960 年代後半にドイツとフランスで行われたものですが、その後、欧州統合に伴う言語政策や当時主流だった言語学習法・教授法の影響を受けながら発展し、1990 年代頃から様々な国に広がり、外国語学習に幅広く活用されるようになってきています。

本セミナーでは、タンデム学習とはどのようなものかを紹介した上で、その学びの効果と課題についてお話しします。今後、日本社会では多文化共生の推進がますます重要になっていくと思われる。本発表を通して、様々な教育現場におけるタンデム学習の今後の可能性について皆さんと考えたいと思います。